

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果
(公表)

評価年月日:令和 5 年 3 月 31 日

公表:令和 5 年 4 月 1 日

事業所名:コトモ西尾寄住校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を明示した 改善計画又は改善目標
環境・ 体利 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	6	0		
	2 職員の配置数は適切である	3	3	他校舎からお手伝いに来てもらっている。	子どもの多い日に職員の休みが重なりと手薄と感じることがある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	0	6		子どもがつかづいてしまう段差がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6	0	より学び勉強会・校舎会議・終礼・打ち合わせを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート 調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	6	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげている	5	1	見学や体験にきていただいた方から振り返りを記入して いただいている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	6	0	社内教育(動画研修)、外部研修、仕事に関する勉強会 を会社内でやっている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課 後等デイサービス計画を作成している	6	0	アセスメントをHUGIに記載し、スタッフにも利用前や新規 計画書を確認してもらっている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、 標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	校舎会議でみんなで提案している。来年度は指導員の 職員もふまえてみんなで立案していく。	
適切な 支援の 提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	6	0		
	13 平日、休日、長期休暇)に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	6	0	長期休みはセレクトタイムや活動を2つ行うなど見守りに ならないようにしている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	5	1		個別活動に取り組み記録を残していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認している	6	0		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付 いた点等を共有している	6	0		
	17 日々の支援に関して正しく(記録をとることを徹 底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	子ども情報共有シートに記録し、必要に応じて病院など へ伝える記録の参照にしたり、アセスメントで保護者に 伝えるツールにしたりしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断してい る	6	0	多くのスタッフからの意見を聞き、支援計画書に繋げて いる。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	6	0		
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわ しい者が参加している	6	0		
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調 整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を 適切に行っている	6	0		
関係機関 や保護 者との 連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いる	1	5		医療的ケアが必要な子は現在利用していない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間で 情報共有と相互理解に努めている	6	0		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	3	3		準備は出来ている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修を 受けている	5	1		相談所とは連携しているが、支援センターさんとは 連携が取れていない。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障が いのない子どもと活動する機会がある	4	2		児童クラブとの交流はないが、コロナも落ち着いて きたため児童館に1けるようにしていく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加し ている	6	0	管理者だけでなく、指導員の職員も参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	6	0		
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	1	5		他校舎で開催されているが寄住校では行っていない ために支援ができる体制を整えていく。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧に説明を行っている	5	1		
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行ってい る	6	0	療育相談の案内やダイレクトメールをおこなっている。	
保護者 への説明 責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	2	4		コロナで遅れてきたが今後は再開したい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	6	0		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6	0		
	35 個人情報に十分注意している	6	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	3	3	講師の先生に依頼したり、よりずみCafeにも講師の先生 や退職した職員を招待する予定。	
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知している	6	0	お便りに掲載していく。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	6	0	利用者(2ヶ月に一度)、職員(3ヶ月に一度)、コトモ全 体(年に一度)訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	6	0	年に一度、虐待防止研修を行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載している	6	0	同意書をもっていることと、個別で話した場合は保護者 の方にも伝えている。	
非常時 等の対応	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている	4	2		HUGIには記載しているが、指示書は貰っていない。 薬情報は保護者からもらうようにしている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	5	1	会議の中で共有している。	読んでいないので今後読んでいく(パート)